

山口県

[1 次試験]

| 集団討論 | |
|--|--|
| 校 種：全校種共通 時 間：60分程度 (構想5分・1人2分で意見を述べる・討議40分) 受験者：6～7人 試験官：3人 | |

[試験の流れ]

会場外で試験番号が書かれた名札を付けて待機する。会場へ入り、試験番号順に着席し、試験官の説明後、テーマが書かれた用紙が配付され、5分間で構想を練る。くじを引いて1人2分で意見を述べる。全員意見を述べ終えたら討議開始。司会は立てる指示はなく、残り5分で声がかかる。教員としての立場だけでなく、保護者や社会人など様々な立場から討議する。試験官は12分ほどでローテーションする。

テーマ

◆共通

- 子どもたちの自己肯定感・自己有用感を高めるために、私たちはどのようなことに心がけたらよいか、みなさんと話し合ってください。
- 子どもたちが自ら課題を見つけ解決する力を身に付けるために、私たちはどのようなことに心がけたらよいか、みなさんと話し合ってください。
- 子どもたちが新たなものに進んで挑戦する態度を養うために、私たちはどのようなことに心がけたらよいか、みなさんと話し合ってください。
- 子どもたちが積極的に地域や社会に貢献する態度を養うために、私たちはどのようなことに心がけたらよいか、みなさんと話し合ってください。
- 子どもたちが互いに理解し協力し合う態度を養うために、私たちはどのようなことに心がけたらよいか、みなさんと話し合ってください。

英(中/高/特)…グループディスカッションによるスピーキングテスト(実技試験として実施)

スポーツ・芸術特別選考及び看護科・理療科教諭特別選考…個人面接

[2 次試験]

| 模擬授業 + 集団討論 | |
|--|--|
| 校 種：全校種共通 時 間：60分(構想15分・授業1人5分・集団討議30分) 受験者：6人 試験官：3人 | |

[試験の流れ]

最初に説明があり、指導案を作成するよう指示がある。学年も指定して授業ができる。テーマは配布される紙に書いてある(児童は特別な配慮がない設定)。

考える時間は15分。15分たったら紙を回収される。くじを引いて模擬授業を行う順番を決め、順番に授業をする。授業を行う時間は5分間。授業をする前に回収された紙を渡され、校種と設定学年を言い、試験官の号令で始める。自分が模擬授業をするとき以外は児童・生徒役として参加する。

集団討論は1時間の指導案をグループで作る。黒板を使ってもよい。紙が1人1枚配布されるのでメモをとることができる。試験官は何分か毎に席を移動する。終了5分前になると試験官から合図がある。

模擬授業・集団討論テーマ

◆小学校・中学校・高校・特別支援学校

- 模擬授業の主題：「感謝することの大切さ」
このグループで協力して、小学校5年生(中学校2年生、高校2年生)の子どもたちに「感謝することの大切さ」について考えを深めさせる1時間の授業を立案することとします。どのような授業にするか、討議してください。
- 模擬授業の主題：「地域や社会と関わることの大切さ」
このグループで協力して、小学校5年生(中学校2年生、高校2年生)の子どもたちに「地域や社会と関わることの大切さ」について考えを深めさせる1時間の授業を立案することとします。どのような授業にするか、討議してください。
- 模擬授業の主題：「集団で活動することの大切さ」
このグループで協力して、小学校5年生(中学校2年生、高校2年生)の子どもたちに「集団で活動することの大切さ」について考えを深めさせる1時間の授業を立案することとします。どのような授業にするか、討議してください。

◆養護教諭

- 模擬授業の主題：「心の健康づくり」
このグループで協力して、中学校2年生の子どもたちに、「心の健康づくり」について考えを深めさせる1時間の授業を立案することとします。どのような授業にするか討議してください。
- 模擬授業の主題：「けがの防止」
このグループで協力して、中学校2年生の子どもたちに、「けがの防止」について考えを深めさせる1時間の授業を立案することとします。どのような授業にするか討議してください。
- 模擬授業の主題：「運動習慣の大切さ」
このグループで協力して、中学校2年生の子どもたちに、「運動習慣の大切さ」について考えを深めさせる1時間の授業を立案することとします。どのような授業にするか討議してください。